

令和7年7月13日（日）《午前》
第12期Bコース研修生 「成果報告会」

1年間の留学を終えて、先日アメリカ合衆国とカナダから帰国した第12期Bコース研修生による「成果報告会」が7月13日（日）午前に行われました。

研修生は、留学前から自分で研究課題を選び、アンケート調査や関係者へのインタビューなどを行いながら研究を深め、留学中に報告書（研究論文）としてまとめました。成果報告会では、既に提出した各自の報告書の要点をまとめた概要版を基に、5班あるゼミナールの班ごとに1人10分程度で発表し、質疑・応答を交えながら、お互いの研究の成果を披露しました。

研究テーマは自分で選びますが、地球規模の課題を取り上げる中で、貧困問題、食糧問題、労働問題、環境問題など、多岐にわたるテーマについて、課題解決に向けてまとめられた研修生の提言も、それぞれ理にかなった具体的なものとなっていました。

次代を担うリーダーとしての資質を一層高める研究となりました。



令和7年7月13日（日）《午前》
第12期Bコース研修生 「帰国オリエンテーション」

アメリカ・カナダ留学から帰国した研修生は、7月13日（日）午前に帰国オリエンテーションに参加しました。ワークショップ形式で、研修生に今回の留学経験を可視化・表現させることで、あらためてその価値を認識させ、自分たちの次世代リーダーとしての役割を自覚し、そのことをどう将来に繋げていくかということなどを皆で共有しました。

ファシリテーターの指導により研修生たちは3人の小グループに分かれて、留学中の体験を語り合い、それが自分の生き方にとってどのような意味があるのかを確認しました。また、次世代リーダー育成道場の経験を踏まえて各自が「将来に向けての目的・行動」を発表しました。留学を終えた研修生がこれからさらにリーダーシップを発揮して、将来に向けて自らのミッション達成のためにどのようなアクションを起こして社会に貢献していくのかを考える研修でした。

